

願書番號大正十五年第二一一五四號
出願 昭和十五年十一月十一日
公告 昭和三年一月二十六日

名古屋市中區御器所町字上赤島三十三番地
考案者 西川
名古屋市南區熱田東町字竹ヶ鼻三十六番地ノ三
出願人 日本碍子株式會社
東京市麹町區八重洲町一丁目一番地昭和ビルヂング
代理人 辦理士 杉村 信
外一名近

碍子用「フック」

圖面ノ略解 第一圖ハ本案「フック」ノ正面圖第二圖ハ其平面圖ニシテ何レモ一部ヲ截切セリ

實用新案ノ性質、作用及效果ノ要領 本案ハ普通ニ送電線路ノ懸垂若クハ引留碍子ト關聯シテ使用セラルル「フック」ノ脱落ヲ防止スヘキ裝置ニ關スルモノナリ

圖面ニ於テ①ハ「フック」本體即チ鉤體^ミハ其取付孔^ミハ鉤端ナリ本案ニ於テハ^レ状^レナス止腕^ミヲ螺子^ミニ依リテ「フック」ノ幹部ニ裝着シ止腕^ミト「フック」ノ幹部トノ間ニハ機條^ミヲ裝置ス圖示セル場合ニ於テハ機條^ミハ螺子^ミノ周圍ニ於テ止腕^ミノ轂孔^ミ内ニ設置セラレ單ニ壓縮力ニノミ對スルモノトス但シ張力機條ヲ使用シ同様ノ效果ヲ奏セシノ得ル事勿論ニシテ何レニスルモ第二圖示ノ位置ニ於テ止腕^ミヲ矢^ミノ方向ニ押シ付クル操作用ス但シ機條^ミハ必シシモ前記ノ如ク轂内ニノミ埋設スルヲ要セス止腕ト「フック」幹部トノ間ニ裝置シ相對的ニ矢^ミノ方向ニ力ヲ加フル様爲セハ可ナリ^ミハ「フック」幹部ニ設ケタル突起ニシテ止腕^ミヲ設ケ兩者ヲ互ニ合ハニ供ス又「フック」ノ幹部ニハ凹溝又ハ凹所^ミヲ設ケ止腕^ミノ是ニ對應スル側面上ニハ同様ノ凸條又ハ突起^ミヲ設ケ兩者ヲ互ニ合致セシムル様止腕^ミ「フック」幹部ニ取り付クル時ハ第一圖示ノ位置ヲ取ル構成ス從ラスル狀態ニ於テハ止腕^ミハ「フック」幹部ニ對シ樞動スル能ハス確固ニ其ノ位置ヲ支持スヘシ

然レ共止腕^ミヲ螺子^ミノ軸方向ニ矢^ミト反對方向ニ動カス時ハ機條^ミハ壓縮セラレ從テ突起^ミト凹溝^ミトノ懸合ヲ脫スルヲ以テ止腕^ミヲ第一圖矢^ミノ方向ニ動カシ得ヘシ此ノ目的ニ對シ止腕^ミト鉤體トノ間ニハ少許ノ間隙ヲ存セシムルモノトス

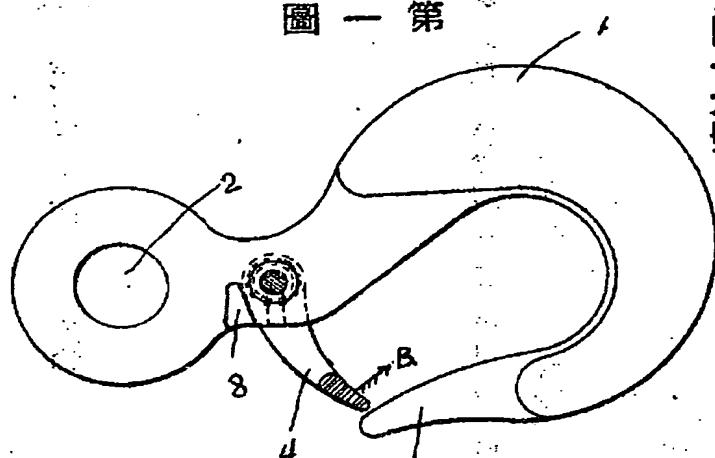
斯グシテ鉤端ミラーボルト孔ニ貫通セシムル等任意他物ト懸合セシメ得ヘク而シテ一旦懸合セル後止腕ヲ再ヒ第一圖ニ示セル位置ニ動カヌルハ機條豆ハ直角ニ互ニ嵌合セシムル機止腕ヲ側方ニ動カシ又突起ミハ更ニ確實ニ之ヲ終極位置ニ支持スル爲メ必要ニ應シテ設ケラレタルモノトス

要スルニ本件ニ依ル時止腕ヲ僅ニ側方ニ押シテ之ヲ遊離セシムルモノ「フック」ノ内方ヨリ之ヲ動カヌ能ハサル機簡單且有力ニ脱落防止ノ作用ラナナシメタルモノトス

登録請求ノ範囲 画面ニ示セル如クU状ヲナス止腕ト之ヲ「フック」幹部ニ取付クル螺子ト前記止腕ヲ該幹部ト相對的ニ前記螺子軸ノ方向ニ抑止セシムル様止腕及幹部間ニ介装ナレタル機條ト前記止腕及鉤體ノ接觸面間ニ夫々設ケラレタル凸凹懸合部トヨリ成ル碍子用「フック」ノ構造

實用新案出願公告第四一六號

第一圖



第二圖

